

# バルカー

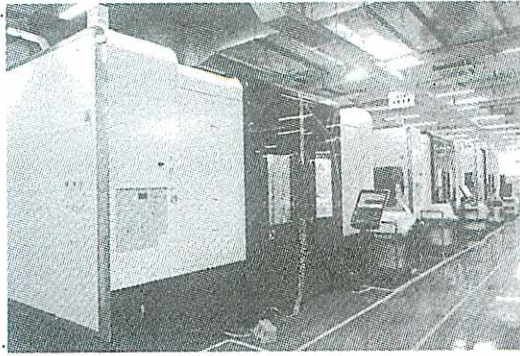
## 中国半導体市場に攻勢

### 薬液タンクや製造装置部品加工能力を增强

バルカーは中国半導体市場の開拓を加速する。半導体製造で用いられる薬液貯蔵用タンクは中国拠点の加工能力を2020年をめどに倍増する。また、半導体製造装置に組み込まれるフッ素樹脂部品についても今年に入り加工能力を增强。さらにシール材も、4月にも試作品の生産を開始する予定。昨秋には半導体関連企業が集積する北京に営業所を開設した。国策で育成が進められる半導体産業の本格的な立ち上がりに伴い、事業体制を強化する。

### 北京に営業所

バルカーは、半導体製薬タンクとフッ素樹脂加工のウエットプロセス向けにフッ素樹脂ライニン



上海バルカーに導入したフッ素樹脂部品の大型加工機

グタンクとフッ素樹脂加工のウエットプロセス向けにフッ素樹脂ライニン

カーフッ素製品(上海バルカー)でタンクライニング用のフッ素樹脂シートやフッ素樹脂部品の加工を、バルカーシール製品(シール上海)ではタンクへのフッ素樹脂シートライニングを手がける一貫生産体制を構築している。

上海バルカーでは主に日本や中国国内向けフッ素樹脂加工部品やライニングタンクの販売好調を受けて高稼働を続けており、今年に入り約1.5億円を投じて大型加工機を導入、加工能力は18年比で1.2倍に高まった。

一方、シール上海では17年からタンクライニング

加工を開始。半導体のフラインピッチ化にともないクリーン度の高い同社タンクへの需要は強く、足元もフル稼働を続けている。現在は半導体

さらにシール上海ではエラストマー製シール材の生産も開始する。そのため既存の工場建屋を改装し、クリーンルームを整備。現在製造設備の導入を進めており、4月にも試作品の生産を開始する予定。

昨秋には北京に営業所

工場における固定式タンクを中心にかけているが、今後は半導体工場と薬液工場の間をつなぐ送用ISOタンクにも手を広げる。これに向けてタンクの加工能力をさらに引き上げる計画で、工場の整備と人員の拡充を進める。

を開設し、同地域に集積する現地の半導体関連企業の開拓を加速している。中国では国をあげて半導体産業を育成しており、同国内で関連資材の需要が拡大する見通し。

足元の半導体に関する投資意欲は弱含みで推移しているが、20年にも必要回復が見込まれている。同社はこれに照準を合わせ、事業体制の強化を進める。